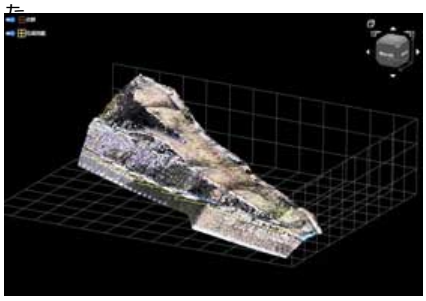
崩れた法面の復旧にＩＣＴ建機が活躍！

マシンコントロール機能の ＩＣＴ建機に期待を込めて

■■現場詳細■■
広島県尾道松江線吉舎IC　災害復旧工事
【施工範囲】　法枠工1,600m²
【施工土量】　掘削8,300m³
【ソリューション】
　スマートコンストラクションアプリ
■■導入経緯 ■■
宮川興業(株)　所長　森脇潤一さん
今回の現場は、一昨年の豪雨災害でインターチェンジ周辺の法面がずれたことによる災害復旧工事でした。ＩＣＴ建機に興味はありましたが、丁張りや補助員なしに精度良く施工が出来るのか、実は確信が出来ませんでした。そんな中、以前ＩＣＴ建機を導入したことのある施工業者の方から丁張り等の作業が減ったことで全体の効率が向上し、マシンコントロール機能で掘り過ぎを気にせず精度良く施工が出来たと、ご提案を頂きました。半信半疑ではあったものの、その信頼性と作業効率アップに期待を込めてスマートコンストラクションの導入を決めました。



所長　森脇潤一さん

オペレータ　山崎一子さん

広島県
宮川興業(株) 様

私たちは次世代により良い環境を
創り、守り、残す事業を開拓することで
社会に貢献できる企業
となるために
Amenity（より良い環境）と
Art（創造的な技術）を
テーマに全力を尽くします。

掲載月:2020年2月

若手女性オペレータが 高精度な施工を実現

■■導入効果 ■■
宮川興業(株)　所長　森脇潤一さん
ＩＣＴ建機を初めて導入するにあたり不安に感じていた施工の精度ですが、導入してみると、この現場での誤差は±2cm以内と非常に精度が良かったことにまずは驚きました。ある程度の経験が無ければ施工することが難しいと言われている法面施工ですが、マシンコントロール機能による自動整地アシストのおかげで丁張りの設置や確認等の補助作業が必要なくなった為、建機の周りで作業する人がいなくなり、入社1年目の若手女性オペレーターが安全に作業を進めることが出来ました。また気を使うレバー操作の負担も軽減されて作業スピードが上がり、従来の施工と比べて工期も短縮することが出来たので、大変満足しています。初めに抱いていたＩＣＴ建機への半信半疑の気持ちがスマートコンストラクションを導入したことで一気に覆されました。